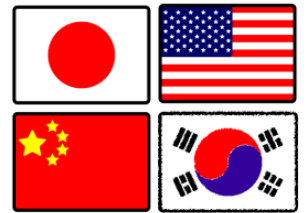


2019年

CIR活動ページ

No.111



アンニョンハセヨ(こんにちは)! 韓国国際交流員の趙熙恩(ジョ・ヒウン)です。

今年もあっという間に1か月が経ちました。2月3日、日本では伝統行事の「節分」がありますね。春が訪れる(春分)前に悪いことを追い出すため、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをする風習です。韓国にはない行事なので、初めて経験した時はとても面白く感じました。

今年、韓国は2月にお正月を迎えます。韓国では伝統行事に関して、まだ旧暦に従っているからです。今の韓国では日本と同様お正月にお年玉を渡すことが一般的ですが、昔は炒めた豆一粒を赤い紙に包んで福袋(右のイラスト)に入れて家族や親戚に渡したそうです。これで、悪霊を追い出し、一年間の福を祈ったようです。両国の似ている豆の使い方(?)が面白いですね! 何よりも、自分だけではなく、周りの人々の幸せを祈ってきた両国の先祖たちの暖かい心を継いでいきたいと思います。



皆さん、セヘ ボク マニ バドウセヨ! *「新年、福をたくさんもらってください。」という韓国の新年あいさつ

「日韓親善子供大使友好の翼」26回目の交流



1月17日から20日まで、韓国の釜山にあるペヨン初等学校(小学校)の6年生7人と引率者が霧島市を訪れました。平成4年から国際空港の近くに位置している小学校同士の交流として、陵南小学校とペヨン初等学校の交流が始まり、今は霧島市小学校5・6年生との交流に広がっています。(『日韓親善子供大使友好の翼』)

今年で26回目を迎え、韓国の子供たちは陵南小学校で出し物交流や風鈴絵付け、飾り巻き寿司作り、茶道など、日本の文化を体験しました。翌日は日本のホームステイ先の家族と一緒に鹿児島で楽しい時間を過ごしました。

私は事前学習会の講師と通訳としてこの交流に参加していますが、日本の子供たちが事前学習会で学んだ、韓国語であいさつしてくれてとてもうれしかったです:) これからもこの交流はもちろん、両国の交流がますます発展していければと願っています。



「香港風ボルシチスープ」で、市民と交流

1月28日、アメリカ国際交流員イー・ジェリーさんが「香港風ボルシチスープ」を作り、市民の方々と交流を楽しみました。イーさんはアメリカ出身ですが、ご両親が中国の広州出身のため、中国の文化にも幼い頃から触れてきたそうです。

このボルシチスープは、元々ロシアの食べ物ですが、彼が育ったアメリカ・サンフランシスコでは、中国・広東出身の人が多いため、香港風が広まっているそうです。ある参加者は「孫にも作ってあげたい。」と感想を述べていました。また、広東料理の「洋風チャーハン」も作り、参加者の皆さんは大喜びでした。

